

<体験学習支援活動>

南山田小学校で稲刈り



11月11日（月）吹田市立南山田小学校の5年生5クラスで稲刈り体験学習を行いました。順調に稲刈りが進んだかに思えたのですが、最後のクラスが残り30分程で完了と云う寸前に、にわかにかが掻き曇り、稲妻が轟きました。30分間程中止し雨が止んでから再開できました。

防鳥ネットを張って注意していた田んぼも、大分スズメに食べられている様でした。

講師の稲山さんから、「田植えの時は4本程度だった稲が収穫する時は10本を超える本数に育っているのは何故か？」の質問に、クラス毎に珍回答の連続・・・『成長して枝分かれした？』の答えも多かった。正解は『分けつ』でした。全員で稲束を縛る作業と天日干しの稲木にその束を上手につるす作業を終え、授業を終了しました。



<体験学習支援活動>

プランターでも稲刈り



11月11日（月）吹田市立千里丘北小学校ではプランターで育てた稲の稲刈りをしました。全国でも『プランターで育てた稲の稲刈り』は大変珍しい体験学習だと思います。

千里丘北小学校では校内に畑は持っているのですが、更にミニ田んぼを確保する余裕がありません。そこで毎年プランターを利用した稲づくりをしています。プランター8個に田植えをした稲を5年生全員で一生懸命にお世話し、稲刈りを迎えました。教室で乾かす稲束から何キロのお米が収穫できるのだろうか。今から楽しみです。



<体験学習支援活動>

サツマイモほりが始まった



11月11日（月）吹田市立千里第一小学校では鳴門金時の芋ほりが行われました。当校の栽培委員会（6年生と5年生）の児童が、この夏の酷暑の中も当番を決め、細目に水やり等を行って育てて来たものです。

すいた体験活動クラブの稲山さんの指導を受け、芋づるを取り払った後、一斉に芋ほりをしました。表面に顔を出している芋は難なく取り出せたが、大物はどこに潜んでいるのやら・・・。有った！‘ここにも芋が有るよ’と土を掘る手先にも力が入ります。一番大きい芋だぞ！ 待ちに待った収穫の喜びです。

掘った後の二面の畑は耕し、畝づくりをし、一つの畑はダイコンやカブの種を蒔きました。もう一面は後日淡路島の玉ねぎや男爵イモを植えようと計画しているそうです。

